

初詣に行きました

1月16日に筥崎宮にお参りに行きました。この日はお祭りではないにもかかわらず、他の施設の方々もいらして大賑わいでした。さて皆様のお願ひ事は何でしょう？



お賽銭は投げはけないのよ。ゆっくり箱に入れて…
真正面より少し横へずれて…

二礼二拍手。今年も家族が元気で過ごせますように。
そして世の中が平和でありますように…



皆様と一緒に記念写真を一枚!!
昨年と違いすっきりと晴れてとても良かったです。
神社に来ると心がすっきりします。
不思議ですね。職員も願ひ事を唱えました。なんといっても皆さんが仲良く安全に過ごして下さるのが一番です。そして仕事や勉強の努力が結果に出て皆さんに少しでもお役に立てばと思います。



2019年2月号

社会福祉法人 晃和会
〒813-0043
福岡市東区名島3丁目52番5号
TEL 092-673-1800
FAX 092-673-2626

デイサービスセンター名島

迎春



一月のレクリエーションでは、「書初め」を致しました。始めは書くのが苦手だからと筆が進まない方が多かったのですが、一人二人と書き始めると、それぞれ好きな言葉を書かれました。ある方は、正月を笑月と書かれたり、一つ一つがその方らしい作品に仕上がったようです。下の写真は年末に貼り絵をし、来年の抱負を書いていただいたものです。細かい作業でしたが、皆様熱中されていました。

一月は初詣に行く予定でしたが、インフルエンザ流行の時期でもあり、延期となりました。楽しみにされていた利用者様のお気持ちに沿えず、大変申し訳ございません。今後とも、皆様に楽しんで頂けるレクリエーションを考えて参りますので、よろしくお願い致します。

生活相談員：木村・満生

もしものときのために

～人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？～
(人生の終わりまで、あなたの大切な人に、どのように、過ごしてもらいたいですか?)

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やけがををする可能性があります。

一方で、命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、人に伝えたりすることが出来なくなると言われています。

緊急時の心肺蘇生を望むか、人工呼吸器の装着を望むか、
ご飯が食べれなくなったときなどに、胃瘻（※胃に穴を開けて直接栄養剤を注入する）などの経管栄養を望むか、点滴治療を望むかなど、ご本人と共に
ご本人が信頼する周囲の人と十分話しあい、共有するといった取り組みを、
「アドバンス・ケア・プランニング」と呼びます。

この取り組みは、厚生労働省も推進しているもので、厚生労働省のホームページにも詳細が記載されています。

現状においても「シエル名島」の入所者様の救急搬送時や医療機関入院時には、医療機関から、どこまでの治療を望まれているかの意向確認が行われています。



後悔しない為に、より良い選択をする為には、ご本人・ご家族間での十分な話し合いが必要となります。「アドバンス・ケアプランニング」について、ご興味がおありの方は是非、担当のケアマネジャーか生活相談員までお尋ねください。



厚生労働省ホームページ

(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/sai_syu_iryuu/index.html)

担当 シエル名島 特養生活相談員 鈴木 潤